

研究室紹介

ヒューマンシステムデザイン研究室
(Human System Design Laboratory)

前野 隆司 教授

キヤノン株式会社研究員、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、ハーバード大学客員教授、慶應義塾大学理工学部教授等を経て現職。

専門分野: システムデザイン・マネジメント学、ロボティクス、科学技術論

E-mail: maeno@sdm.keio.ac.jp



ヒューマンラボとは?

私たちヒューマンラボ(ヒューマンシステムデザイン研究室)では、よりよい人間社会の実現を目指して、人間にかかわるあらゆるシステムを対象に研究活動を行なっています。以下に研究分野の例を記しますが、研究テーマはこれらに限定されません。現代のソクラテスやダ・ヴィンチを目指し、科学技術から哲学・アートまで、あらゆる先端分野の研究をシステムという視点から学問分野横断的に行なっています。学生、教員、研究員、あわせて30名以上。科学者・技術者からコンサルタント、経営者まで、多様な人々のディスカッションに基づき、様々な問題を解決します。土曜の午後(深夜まで)ゼミを行なっていますので、ご興味のある方はお気軽にご参加ください。

1 コミュニティー・組織・ビジネスシステムのデザイン

協調的環境配慮行動モデル、サステナブルなNPOのあり方、公共団体の地域間連携方法、新たな地域連携農業システムの構造、企業体の理念浸透施策、経営者・従業員・社会の利益と幸福の共有方法、全体整合を目指す新たなマーケティング手法の開発など、よりよい人間社会のあり方に関する様々な研究を行なっています。学問基盤は、システム工学、社会心理学、社会学など。

2 ヒューマン・マシンインタフェースシステムのデザイン

ロボティクスと触覚技術をベースに、コミュニケーションロボットのデザイン、アクティブタッチパネルのデザイン、コンシューマプロダクトの触感デザイン、バリアフリーシステムのデザインなど、様々なヒューマン・マシンインタフェースシステムのデザインを行なっています。学問基盤は理工学、心理学、芸術学、倫理学など。

3 教育・学習・成長システムのデザイン

マルチディシプリナリ(multidisciplinary、学問分野横断的)な教育やコンサルティングをシステムック(systemic)且つシステムティック(systematic)に行なうにはいかによいのか? というシステムデザイン・マネジメント学の研究を行なっています。学問基盤は教育工学、システム工学、システム科学、システム哲学、システム思考。

4 自己システムのデザイン

「自己」「意識」「クオリア」とは何か。「幸福」「ハッピー」「欲求」「面白さ」「協生」「至福」「悟り」とは何か。「教育」「学習」「成長」「人生」とは何か? これらの第一人称的(且つ第三人称的)な課題に、学問分野横断的に取り組んでいます。学問基盤はシステムデザイン・マネジメント学、心の哲学、倫理学、社会学、心理学、脳科学など。

5 これから行ないたい研究分野

南北問題、環境問題、安心・安全の問題など、人類が直面するグローバルイシューを解決するために、国際平和システムのデザイン、文明・文化システムのデザイン、国際政治システムのデザイン、宗教共生システムのデザイン、アートシステム(音楽、美術、文芸、建築、工芸など)のデザインなど、あらゆる課題を相互に関連するシステムの問題と捉え、俯瞰的な視点から研究していきたいと考えています。

学生・研究員・共同研究者募集中!

大きな夢や理想を「おめでたい(楽観的すぎる)」と批判するのではなく、「今の日本や世界を変革したい」「環境共生・安全・平和世界を構築したい」といった大きなビジョンの具現化を志すみなさん、いっしょに研究・活動しませんか!?



協生館1階での集合写真



東京工業大学との交流ゼミの様子



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学 協生館

Tel: 045-564-2518 Fax: 045-562-3502 E-mail: sdm@info.keio.ac.jp

* Fax や E-mail での連絡の際には、お手数ですが Subject の先頭に「SDM 研究所」とお書きください。

SDM
System Design and Management